

## 自分が変われば周りが変わる

富岡市立妙義中学校

三年 竹田 有希

あれは忘れもしない昨年の夏のことです。私は富岡市中学生海外派遣事業に参加し、オーストラリアにホームステイに行きました。事前学習で仲良くなった他校の友達もいて、日本を旅立つ時には、不安よりも期待や楽しみの方がずっと大きかったです。

オーストラリアに着き、ホストファミリーと対面しました。数日たっても私のホストファミリーは日本に興味がないのか、日本のことを質問してきたり、日本語を教えてくださいということがまったくありませんでした。他校の友達に会い、ホストファミリーの話をすると、他のホストファミリーは日本語を勉強してくれていたりと、気を遣ってたくさん話しかけてくれたりすると、ということ聞き、悲しくなりました。「何で私のホストファミリーだけ私に気を遣ってくれないんだらう

…。日本の話をしてくれないんだらう…。」と。数日間、は昼間友達に会えたので、さみしい気持ちをまぎらすことができましたが、一日ずつとホストファミリーと過ごす日が来て、私のさみしい気持ちは最高潮に達しました。

日本の家族に電話をしました。家族は私がホームシックになるとは思わなかったらしく、驚いていましたが、静かに私の話を聞いてはげましてくれました。その電話でテレフォンカードはもう使い切ってしまった。慣れない土地、慣れない言葉、慣れない食事…。そして何よりホストファミリーの態度に、もう世の中でひとりぼっちになってしまったように、さみしくて仕方ありませんでした。私の頭の中では、「帰りたい！けど帰れない…。どうしよう。」という思いがぐるぐる回っていました。

それから何時間たったでしょう。思いっきり泣いて、涙が止まり、少しすっきりした頭の中で「もしかしたら、ホストファミリーは私のことを本当の家族のように思っ、普通に接してくれているのかもしれない。」

という考えが浮かびました。「私に気を遣ってくれないのは、本当の家族だと思ってくれているからかも…。」そう思うと心が楽になりました。

朝が来て、私は元気に「Good morning」とあいさつをして、「私も家族」と心の中でつぶやきながら朝食を食べました。なんだか、昨日までと違ってホストファミリーが温かく感じました。昨日までと同じように普通に会話して、普通に遊んで、普通に食事をして…。そのことが全然いやではなくなり、逆に気を遣ってくれないことが楽に思えてきました。その後数日間のホームステイは本当に楽しく、素晴らしい思い出とともに日本に帰ってくることができました。

私はこの時の経験から「自分が変われば周りが変わる」ということを学びました。周りがまったく変わっていないのに、自分の考え方一つで周りが変わって見えること、そして自分の考え方を変え、自分が積極的に行動することで周りが変わってくることを。以前の私はうまくいかないことや自分だけが嫌な役割をしている時は、「何で私だけ？」とか「私ばかりこんな事を

…」と、いつも「他人のせい」みたいな考え方を持っていました。しかし、この時の経験から「他人のせい」ではなく、「自分からやってみよう」というように考えを変えて積極的に行動したら、みんなが協力的になってくれてよい結果になることが増えてきました。「自分が変われば周りが変わる」。きっと私もいろいろな影響を受け、自分が変わって今の自分があると思います。

今の時代、ひきこもりやニート、ネットの世界にどっぷりつかってしまい、人と接することにおくびようになっている人も多いと思います。みなさんの中にも、人と接することで傷ついたり、嫌な思いをしたことがある人も多いと思います。しかし、いつも誰かのせいにするのではなく、自分の考え方を変えてみることから始めてみませんか？きっと思った以上に周りが変わってくると思います。

私は、「自分が変われば周りが変わる」と信じて、人と接することを恐れずに、自分が信じる道をしっかりと歩いていこうと思います。